

消防学校だより

令和2年9月号

発行年月日 令和2年10月5日
発行 宮崎県消防学校

第65期初任科卒業式号

予防査察科

★特別講義

9月3日(木)、消防大学校より講師(水野助教授)を招き、査察・違反処理について講義を受けました。

コロナ禍ということもあり県内消防局・消防本部からの特別公聴の人数制限等、様々な制約の中での研修となりましたが真剣に研修に取り組みました。



★査察シミュレーション

9月8日(火)、宮崎市消防局予防課の協力を得て査察シミュレーションを実施しました。

学校施設を各種防火対象物と見立て、関係者への聞き取り、項の判定や消防設備の維持管理状況など、各種届出が法令を遵守しているか査察し帰署後の台帳整理なども含めた訓練を行いました。



★施設視察

本年8月に落成した県の防災庁舎へ視察に行きました。

防災庁舎は地下1階、地上9階建てとなっており屋上にはヘリポートも設置されています。

本県の災害対応をおこなう災害対策本部会議室は3階にあり、旧庁舎と比較にならないほどの広さと最新の設備となっています。



★修了

9月11日(金)、第12期予防査察科は予定したカリキュラムを全て修了し、研修生13名全員研修を終了することが出来ました。

初任科

★双石山登山訓練

9月3日、双石山にて山岳登山訓練を実施しました。

出校申告の後、双石山までは途中休息をとりながら二列縦隊での行軍を行い、隊としての錬成を行いました。

登山口到着後は各小隊での登山を開始しました。登山が初めての学生も数名いましたが山の登り方等を学ぶ事ができました。

昼食を第2展望台、第3展望台でとり下山後は消防学校までランニングしました。



★好隣梅山岳対応訓練

9月10日(木)、好隣梅にて山岳対応訓練を実施しました。

訓練は、長距離放水訓練と救助訓練の二種目を実施し、山での活動の基礎訓練を行いました。急傾斜地での可搬ポンプからの放水での背圧の影響や、現場でのロープ整理から、環境の整った訓練場とは違うことなど、地理的状況を勘案した活動が必要となる事が学べたと思います。



★清武川中州救助訓練

9月11日(金)、清武川にて中州救助訓練を実施しました。

訓練では、救命索発射銃を使用し対岸にいる部隊に検索網を渡し、渡過線を張った後にバスケット担架に収容し救出するという基礎訓練を行いました。



★第 65 期初任科生卒業式

10月2日(金)、特別点検、査閲訓練実施後に第65期初任科生の卒業式を執り行いました。

今年度の初任科教育はコロナ禍での実施で、これまでに無い様々な対応を取らなければなりませんでした。

学校生活においても新しい生活様式など、環境の変化に適応し対応できたことは、今後の消防人生活においても役立っていくと考えます。

これから各所属に戻り業務に就きますが、自分の住む街にしっかりと根を張り愛郷精神をもって住民の負託に応えられる職員になってください。

査閲訓練

学校長点検 指揮者 総代 上床学生

小隊訓練



救助基本訓練

装備点検

登はん訓練

渡過訓練

降下訓練



救助応用訓練



消防活動訓練

8階建てと6階建てのビル火災を想定した訓練で、それぞれのビル内に数名の逃げ遅れがあるとの情報で、指揮隊、消火隊、救助隊が救出活動や消火活動を実施しました。

最後に訓練棟各階より大空に向け一斉放水を行いました。



式典

式には、丸山県議会議長、杉村宮崎県消防長会長、高橋宮崎県消防協会長、県内各消防(局)長のご来賓や、ご家族、郡司副知事をはじめとする県関係者の見守るなかで、新型コロナウイルス感染症対策も取りながら実施しました。

卒業証書授与



知事告示
郡司副知事



県議会議長祝辞
丸山議長



消防長会長祝辞
杉村宮崎市消防局長

学生代表答辞
総代 上床 宗晃 (都城市消防局)



学生退場



集合写真



10月の主な行事

- ・救急科入校 10月20日(火)

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp